

しらかば

第69号

平成26年
(2014年)

1 月

公益財団法人 北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15

北海道対がん協会 Tel (011)748-5511 Fax (011)748-5512

<http://www.hokkaido-taigan.jp/>

「胃がん小話」

公益財団法人北海道対がん協会

札幌がん検診センター

放射線技術部長 北 本 哲 也

日頃から、がん検診をお受けいただき誠にありがとうございます。

今回は、胃がんについて、検診データも参考にしたちょっとした小話です。最近、胃がんはピロリ菌（細菌）の感染が原因であることがわかってきました。テレビ等でもピロリ菌検査が話題になっていますが、胃がん検診を実施している側からお話させていただきます。

北海道対がん協会で本格的に胃がん検診を始めてから半世紀が経ちました。これまで736万人の皆様が胃がん検診をお受けいただいております。厚生労働省人口動態調査から見ますと、2008年度の胃がん罹患数（最新）は122,910人と、10年前に比べると全年齢で20,464人も増えております。これは、高齢化と団塊世代の方達が胃がん年齢に達したからだといわれております。一方で、胃がん死亡数は、40年間ほぼ5万人弱で推移しております。早期発見、早期治療のお陰です。

ここで実際の胃がん発見率、陽性反応的中度（要精検者から精密検査でがんが発見された割合）を見てみましょう！（表1）

がん発見率は、10年前の0.155%から0.195%へと徐々に上向き、陽性反応的中度も1.55%から2.78%へと上がっています。これは、10年前に比べ年間100人も効率よく胃がんを発見していることを意味します。（上記100人の値は、検診数123,420人、要精検率7%、発見率0.195%の場合です。3つの数値が変わると値も変動します。陽性反応的中度は、検診施設評価指数の重要な1つで、集団の有病率にもあまり影響を受けません。）

検診をお受けになる時には、是非、陽性反応的中度も見てお選びいただければと思います。

検査の中身も少しお話しいたします。撮影は、日本消化器がん検診学

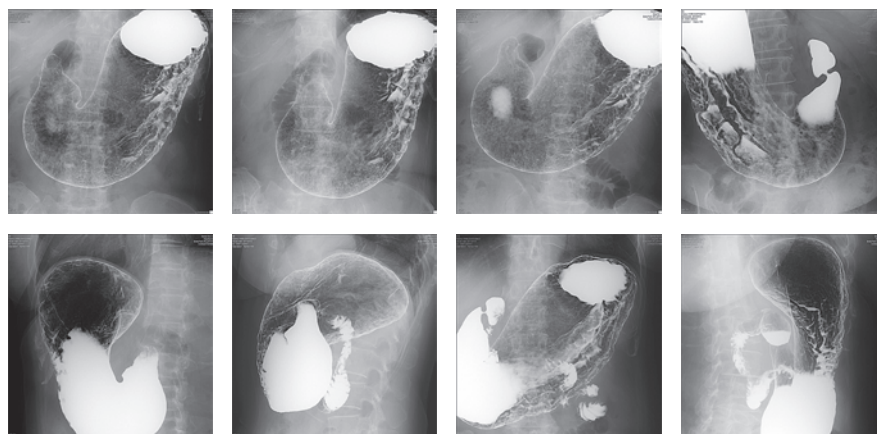
会が推薦する基準撮影法を用いています。胃の壁の微細な凹凸をみるためには、まず胃の中をバリウムで洗い、胃壁にバリウムを付ける必要があります。そのために、正面からグルリと右回りでまわり、また正面に戻るフル回転ローリングをお願いしております。大変ご苦勞をお掛けしておりますが、ご協力によりきれいな写真が撮れ、効率よく胃がんを発見できます。写し出したがんは、逃しません！また、基準撮影法により、胃炎や、先ほどお話ししたピロリ菌が胃の中に住んでいるかも、わかるようになってきております。最後に写真をご覧くださいます。ここでは見本として、典型的な正常の胃粘膜像を提示いたします。（下図）

8方向から胃の壁を診ます。角度を変えると形が本当に変わりますね！撮っている私も感心します。国が死亡率減少効果を認めている検診方法は、X線（バリウム）検査のみです。いつでもお待ちしております。

「いつ受けたら良いのでしょうか？」「今でしょ！」失礼致しました。

表1 公益財団法人北海道対がん協会
一般住民検診における胃がん
データ

	発見がん	陽性反応的中度
2010年度	0.195%	2.78%
2009年度	0.181%	2.54%
2008年度	0.177%	2.41%
	⋮	
2001年度	0.155%	1.55%



「毎年受けましょう、 胃がん検診」

事業推進部総合検診第2課 保健師 張山 朋恵

がんは、1981年以降30年以上にわたり日本人の死因の第1位で、一生のうちにおよそ2人に1人ががんと診断され、3人に1人ががんで亡くなると言われています。

なかでも、胃がんは日本人がかかりやすいがんと言われています。かつては、男女ともに胃がんによる死亡者数が第1位でしたが、平成10年に肺がんが胃がんを抜き、現在は2番目に多いがんです。現在、年間で5万人弱が胃がんで亡くなっています。

胃がんは40歳代から増え始め、50～60歳代で発症のピークを迎えます。また、男性にかかる人が多いのが特徴です。最近では、タレントの宮迫博之さんが42歳で胃がんになったとテレビや新聞で話題になったのは、記憶に新しいことと思います。

まさに、働き盛りの年代に多く見つかる胃がんですが、忘れずに検診を受けられていますか。実は日本のがん検診受診率は、国の目標とする

50%をはるかに下回っています。胃がんにおいても、平成22年の国民生活基礎調査では、男性が34.3%、女性が26.3%と受診率が低い現状です。また、当協会での平成23年度の年齢別の受診数を見ると、60歳未満の若い年齢層の受診が少なく、全体の32%にとどまっています（表1）。受診歴別では、前年も受けられている方は約6割と、半数以上の方が年に1回の検診を受けられていましたが、残りの4割が毎年の受診となっていない状況です（表2）。

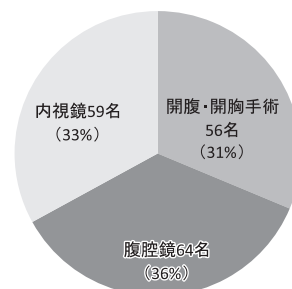
症状がないから、忙しいからなど、検診を受けない理由はさまざまであると思います。胃がんは特にこれといった症状がなくても、自分では気づかないうちに進行している場合があります。ですので、症状に気づいて検査を受けたときにはすでに手遅れに・・・、ということも珍しいことではありません。先述のように、胃がんは働き盛りの年代に多く見つかりやすいので、自分のからだのことだけではなく、仕事や家庭での役割など、日常生活にさまざまな影響を及ぼしてしまいます。

症状がない段階のがんを見つけるためには、やはり検診を受けることが大切です。検診で見つかる胃がんは早期のものが多く、早期であればほとんどが治癒可能とされています。早期発見と早期治療により、胃がんは今では「治る病気」となっています。また、検診により胃がんの

死亡率は年々減少傾向にあります。

胃がん検診は、検査前にバリウムを飲み、からだの向きを変えて様々な方向からエックス

表3 胃がん手術施行者179名の内訳（H23）



線写真を撮影して、胃の形や粘膜の状態の確認を行います。当協会では、平成23年に127,683名が検診を受けています。がんは194名に分かり、特に受診歴が「4年前以上」と「初回受診」の方に多く見つかります（表2）。一度検診を受け、異常がなかったからといって安心して検診の間隔を空けずに、毎年受けることが大切だと言えます。

検診によって万が一がんが発見されたとしても、今は医療の進歩でさまざまな治療法があり、がんの大きさや進行度などによって選択されます。手術が治療の基本となりますが、早期がんでは、内視鏡や腹腔鏡での治療によりからだの負担が少ない治療も可能です。当協会で平成23年に発見された胃がんのうち、179名が手術をしています。そのなかで33%が内視鏡、36%が腹腔鏡での治療をしており、これらの治療が近年では増加しています（表3）。ところが進行がんになると、胃全体や周辺の臓器を摘出したり、手術ができないときには放射線療法や化学療法などを行う場合もあります。もちろん早期がんに比べてからだへの負担も大きく、医療費や治療にかかる期間についても同様のことが言えます。

継続して検診を受けることで、異常がないかを発見する機会が増えます。また、目に見える病気ではないからこそ、確認のために毎年受けることが大切だと思います。元気だから、自分には関係ないからと思って受けていない方はいませんか。大切な人の健康や生活のためにもぜひ、周りの人たちにも声をかけてみてください。

表1 胃がん検診の年齢別受診数（H23）

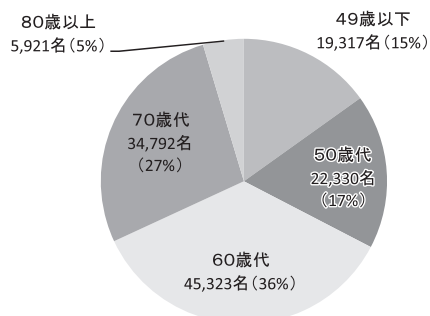


表2 胃がん検診の受診歴別受診数とがん発見数（H23）

受診歴	受診数	受診率	がん	発見率
初回受診	14,194	11.1%	31	0.22%
1年前受診	77,376	60.6%	103	0.13%
2年前受診	17,497	13.7%	21	0.12%
3年前受診	5,123	4.0%	7	0.14%
4年前以上	13,493	10.6%	32	0.24%
計	127,683	100%	194	0.15%

がん検診 予防研修会



平成25年3月16日（土）旭川がん検診センターにおいて、がん検診・予防研修会が開催されました。旭川市と近郊市町村の保健関係者を対象に案内し、11市町村よりご参加いただきました。

旭川医科大学産婦人科の加藤育民先生を講師に迎え、「検診、予防（ワクチン接種）を考える～子宮がん検診予防事業を通じて～」と題して講演が行われました。加藤先生は、子

宮頸がん予防事業を積極的にすすめており、地方での講演会等の普及活動を行われています。講演では、子宮頸がん検診の受診率やクーポン利用率、子宮頸がん予防ワクチンについてお話されました。

世界では毎年50万人が子宮頸がん罹患し、27万人が亡くなっています。日本は子宮頸がんの発症数は多いものの、医療技術が向上している点から他国に比べて死亡率は低いのが現状です。しかし、日本の子宮頸がん検診受診率は他国と比べると非常に低く、20%台で推移しています。対して、イギリスでは家庭医や看護師が検診をすることで受診する機会が増え、受診率が7割程度に上がっているそうです。

検診受診率向上のためにどうしたらよいのでしょうか。子宮頸がん検診無料クーポンの利用率があがらないという現状では、配付方法を工夫することや啓発活動をしっかりと行うことが大切です。また、受診可能な医療機関の拡大も必要で、

クーポンを持っていればどこの市町村でも受けることのできる環境であれば利用率も上がるのではないかとのことでした。

また、検診と子宮頸がん予防ワクチンを両方行くと、99%子宮頸がんで亡くなる人はいなくなるというべく、先生は2つの両輪をしっかりとらせてがんを撲滅したいと思っていますとお話されていました。

講演終了後には、加藤先生を交えて意見交換会を行いました。市町村のがん検診受診率の状況や受診率向上のために取り組んでいることについて話し合われました。

加藤先生からは、「すぐに受診率が10%、20%あがることはないけれども、ひとつひとつ取り組む事で必ず受診率は上がってくると思われる。受診率は上げるのは難しいが下がるのは早い。若い年代の人たちの健康を守るため、皆さんにはあきらめずにコツコツと取り組んでほしい。」とお言葉をいただきました。

日曜検診、定期的に実施中！

年も改まり、心機一転、頑張りたいところですが、「年1回の健康チェック」がん検診はお済みでしょうか。無料クーポンや特定健診の受診券が届いているのに、まだ使っていないという方はいらっしゃいませんか？

北海道対がん協会では、定期的に日曜検診を実施しております。「クーポンが届いているけど、平日はなかなか行けなくて…」という方！日曜に検診を受けて、すっきりしませんか？

無料クーポンの使用期限は平成26年3月31日のため、2～3月は混雑が予想されます。お早めのご予約をおすすめいたします。（旭川・釧路は申込開始日がございますので、下記をご確認ください。）なお、札幌がん検診センターではwebからもご予約を承っておりますので、ぜひご利用ください。



実施場所	日にち	検診項目
札幌がん検診センター 札幌市東区北26条東14丁目1-15 TEL 011-748-5522	1月26日（日）	胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がん 肺がんCT・内臓脂肪CT・腹部超音波・骨密度検査・HPV
	2月9日（日）	1月26日と同内容 + 「特定健診」
	2月23日（日）	1月26日と同内容 + 「人間ドック」
	3月23日（日）	1月26日と同内容
旭川がん検診センター 旭川市末広東2条6丁目6-10 TEL 0166-53-7111	2月2日（日） （申込開始1/14～）	胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がん
	3月23日（日） （申込開始3/4～）	
釧路がん検診センター 釧路市愛国東2丁目3-1 TEL 0154-37-3370	3月2日（日） （申込開始2/3～）	胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がん 特定健診
	3月23日（日） （申込開始2/3～）	胃がん・肺がん・大腸がん

第31回 全国よろこびの会 総会

よろこびの会とは、がんを経験した方が、一人で悩まずに仲間と話し合い、お互いに励まし合うことを目的とした自助グループのことで、みやぎよろこびの会を本部として、全国8道県（北海道、青森、山形、福島、茨城、群馬、長野、石川）に支部があります。年1回、総会を開催しており、今年は平成25年6月20～21日の日程で、青森県浅虫温泉「海扇閣」にて第31回全国よろこびの会総会を開催しました。150名程の参加者のうち、約半数が開催地である青森県よろこびの会からの参加で、地元開催への意気込みを感じました。北海道支部の小舟会からは、会員3名、事務局1名で参加しました。距離的には北海道と青森県は近いですが、平成22年に東北新幹線が青森まで開通しており、他県よりも北海道が一番移動に時間がかかるという意外な事実、参加者一同で大いに驚きました。

表彰では、会員の指導やがん対策の普及広報活動、会の育成発展に貢献した8名に会長賞が贈られました。

また、総会では、決算や事業計画が報告され、がんによる犠牲者をひとりでもなくすために、「がん撲滅」を目指し積極的に取り組むことを全員で宣言しました。力強い宣言に気持ち引き締められました。

そのあと、青森県美術館館長の鷹山ひばり氏による「生きる」と題した特別講演があり、貴重なお話を聞くことが出来ました。

総会後の懇親会では、青森よろこびの会の方が青森ならではのおもてなしで盛り上げてくれました。圧巻は「青森ねぶた」の囃子方の演出で、見せるだけでなく、会場内を練り歩いて、跳人（ハネト）の跳ね方と、掛け声の「ラッセラー」を伝えたり、舞台上の太鼓打ちへの飛び入り参加を求めたりして、全員参加型の演出に会場全体が熱狂しました。また、他支部の唄、踊り、詩吟、様々なアトラクションも披露され、時間を忘れる一夜となりました。自身も胃がんを経験された内科の医師は、「初

めて参加したが、これは元気が貰えるいい会だ。参加してよかった。一緒に頑張ろう！」と話されていました。

翌21日は、他支部の方々と特別史跡三内丸山遺跡・ねぶたの家ワ・ラッセを見学し、名残を惜しみながら、来年の再会を約束し、解散しました。

つらいがんの治療にじっと耐えてきた自分を労い、生きていることへのよろこびを分かち合い、いつも仲間がいることを実感するという、会の目的にそった非常に有意義な時間でした。

平成26年度は宮城県松島で開催予定です。小舟会やよろこびの会にご興味がある方は、当会ホームページ（<http://hokkaido-taigan.jp>）をご参照いただくか、またはお電話（011-722-5550）でお問い合わせください。



第46回 北海道家族の健康をまもる講習会

平成25年7月5～6日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、第46回北海道家族の健康をまもる講習会を開催いたしました。

講習会は「健やかで、いきいきとした生活を送るために」をテーマに、健康に関する正しい知識をより一層深くするとともに、地域の保健推進員等の団体が親善交流を図り、もって家族の健康をまもる地域保健活動を円滑にすることを目的として、年1回開催しています。主催は、北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会、公益財団法人北海道対がん協会の4団体で、北海道が後援となっています。今年は5市町6団体から42名の参加者がありました。

講習会のおおまかな日程は下の表

のとおりです。

国立大雪青少年交流の家は、日本最大の面積を誇る「大雪山国立公園」にそびえたつ十勝岳山麓に位置し、その恵まれた自然環境の中で、グループや集団での交流体験、自然体験、生活体験など様々な活動を行うことのできる研修・宿泊施設です。講習会中も各地の学生さんが、宿泊研修に来ていました。一般の宿泊施設とは異なり、食事の配膳・片づけから寝具の準備・返却、宿泊室や活動した部屋の清掃を利用者が行うため、まさに研修という雰囲気、時間割にそって規則正しく行動するスタイルに、背筋の伸びる思いでした。

近年は参加者の固定化、高齢化が目立ち、セルフサービス方式や起伏の激しい施設環境（山麓にあるため）が困難になりつつありましたが、全体交流会で講習会の今後のあり方を検討したところ、「毎年ここに来て、ハイキングをすることを目標にしています。」等、前向きな意見が多く聞かれ、参加者の、会に対する思い

を確認することができました。次回以降は、原点に立ち返り、会の目的である「参加者同士の意見交換・親善交流」に重きを置いて、少しでも日頃の活動の糧となるよう、内容を精査していきたいと思えます。来年度は第47回目となり、例年どおり7月初旬に予定されています。地域保健活動に興味のある方はどなたでもご参加いただけますので、開催日時・参加方法等、詳細は当番事務局までお問い合わせください。

第47回

北海道家族の健康をまもる講習会事務局
(公財) 北海道対がん協会

TEL 011-748-5511 担当：植村



7月5日（金）	7月6日（土）
・開講式 ・レクリエーション （ハイキング・パークゴルフ・卓球・バッジ作り） ・全体交流会 ・閉講式	・集合写真撮影 ・講演1 「最近話題のトリインフルエンザ」 （公財）北海道結核予防会医療参与 富樫武弘氏 ・講演2 「マンモグラフィ検診の常識・非常識」 （公財）北海道対がん協会放射線科長 黒藤邦夫氏

リレー・フォー・ライフ ジャパン2013 in室蘭 開催

「がんは24時間、眠らない」

リレー・フォー・ライフは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティイベントです。1985年、アメリカ人外科医が「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間闘っている」というメッセージを掲げて、がん患者の勇気をたえ、支援するために、得意なマラソンで寄付を募ることにしました。これが、リレー・フォー・ライフの始まりです。いまや、世界20カ国で開催され、400万人を超える人たちが参加しています。日本では、全国40カ所以上で開催しており、北海道では平成25年8月24・25日に室蘭市で開催されました。北海道対がん協会からは、職員・家族等22名で構成された「チームTAIGAN」

がリレーウォークに参加しました。

8月24日（土）午前10時にスタートした室蘭ウォーキング協会による「室蘭一周ウォーキング」と、同日夜方から始まった「リレー・ウォーク」には、市内外のがん患者と家族、医療関係者、支援者ら総勢500人余りが参加しました。

途中、何度も豪雨に見舞われ、テントを必死におさえたり、トラックが水浸しになったり、例年になく厳しい天候でしたが、最終日の25日（日）には、室蘭市祝津町の道の駅みたら室蘭隣接ひろばにて、チーム全員で閉会式にのぞむことができました。フィナーレでは、それぞれの思いを込めながら、ハトの形をした風船を空高く飛ばしました。

今や、がんは2人に1人がかかる時代になりました。自分や、自分の大切な人ががんにかかる確率が50%もあるというのは、恐るべきことです。しかし、がん



を早期に見つけることのできる唯一の手段「がん検診」を定期的に受けている人は20%に満たない※という現状にあります。どうしたら、多くの人がこの現状に向き合ってもらえるのか。それにはやはり、“すでにかんにかかった人”の声がもっと社会全体に広がる必要があります。リレー・フォー・ライフの輪が今後も拡大していくことを祈念します。

来年のリレー・フォー・ライフは、平成26年4月頃に正式な日程が決まる予定です。ホームページ上で参加チームやボランティアの募集が周知されます。個人での参加も可能なので、興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。

<http://relayforlife.jp/>

表 がん検診受診率（2010年度、北海道）

胃がん検診	9.95%
大腸がん検診	12.34%
肺がん検診	10.22%
乳がん検診	22.85%
子宮がん検診	26.47%

出典：厚生労働省地域保健・健康増進事業報告

リレー・フォー・ライフってなにをするの？

がん患者さんや支援者、友人、知人、地域の方々からさまざまな人たちが、仲間をチームを組んで、夜通し交代で歩きます。会場では、ステージやテント企画など催し物がたくさんあります。夜には、亡くなった方やがんで闘っている方を想うセレモニーが開かれます。

使命である“Save Lives”の実現のために、3つの基本方針があります。

- ①楽しむ…患者・家族をはじめ参加者全員が楽しみ勇気づけられること
- ②啓発…生活改善を呼びかけ、がんに対する正しい知識を普及し、社会全体でがん征圧活動に取り組むこと
- ③募金…がん征圧のための資金を集めること

リレー・ウォーク

仲間をチームを組み、患者さんたちとともにグラウンドを24時間交代で歩き続けます。夜通しのウォークを通して、がんに立ち向かう勇気や生きる喜びを共有します。

ステージ

歌や踊り、演奏などのステージや、医療者やがん患者さんのトークなどを行います。歩いている人たちに勇気づけ、休憩中に楽しんで学んでもらえます。

ブース企画

啓発テントでは、がんの早期発見・治療、健康に関する情報などを、楽しく学べます。また、マッサージやバザーなどのチャリティ企画も行い、楽しくがん征圧のための寄付を募ります。

ルミナリエ

メッセージを託したキャンドルに光を灯し、がんで亡くなった人たちの魂を慰め、また、がんを闘っている人たちに応援します。追悼とともに、がんに立ち向かう勇気を見出します。



ピンクリボン in SAPPORO 2013 ピンクリボンロード

平成25年8月25日（日）、さっぽろホコテン（南1西3・パルコと三越の間の歩行者天国）にて「ピンクリボンin SAPPORO2013 ピンクリボンロード」が開催されました。主催はピンクリボンin SAPPOROで、北海道、札幌市、札幌市医師会及び当会が後援、40以上の団体が協賛・協力しています。

このイベントは、乳がん検診の必要性を訴えかけるとともに、医療従事者、乳がん経験者、市民の皆さまの交流と情報交換の場所となることを目的としており、例年この時期に開催しております。今年は会場設営中にゲリラ豪雨に見舞われましたが、イベント開始と同時に晴れ間もみられ、無事に開催することができ

ました。

今年のステージは、ジャズコンサート、輪になってドラムサークル、合唱、チェアフラなど、来場者も参加して楽しめるステージとなりました。会場内では昨年好評だったボディジュエリーコーナーや、医療用ウィッグの展示コーナー、乳がん模型を触ってみて医師から解説するコーナーが設置されました。さらに路上でも、多くの方に啓発リーフレットを配布し、ピンクリボン運動と乳がん検診の必要性を多くの市民に訴えかけました。夜にはさっぽろテレビ塔をピンク色にライトアップし、市民にピンクリボンをアピールしました。

『乳がん検診を受けましょう』という、何となく硬い印象を受けてしまう方も多いと思いますが、ピンク色は女性色と呼ばれるほど、優しく、包み込むような意味を持つ、包容力あふれる色であるため、『ピン

クリボン』だと、何となく親しみやすく、優しい印象を持ちやすいと思います。乳がんで愛娘に先立たれた女性が、残された孫娘へ決して同じ悲しみを繰り返さないようにと願いを込めて、ピンク色のリボンを手渡したことがきっかけで始まったピンクリボン活動ですが、このような楽しいイベントをとおして、より多くの方に知ってもらえたらと思います。

イベントの詳細はこちら

<http://pinkribbonsapporo.web.fc2.com/nissi.html>



2013年度 がん征圧に尊い寄附金

本年度も、がん征圧に向けて、たくさんの尊いご寄附をいただきました。心より感謝を申し上げますとともに、簡単ではありますが、寄附者と当協会とのかかわりについてご紹介させていただきます。

1 故・秦 温信（はた よしのぶ）先生 札幌社会保険総合病院名誉院長

秦先生には、検診車による巡回乳がん検診において、検診車の増車や、検診に従事する医師を定期的に派遣する体制の確立に多大なご尽力をいただきました。また、当検診センターで乳がん検診を開始した当初から、釧路労災病院に御在職の折には釧路がん検診センターで、札幌社会保険病院に異動されてからは札幌がん検診センターで外来診療に従事していただくなど、当協会の乳がん検診には欠かせない存在でした。

最近では、平成24年10月19日に千歳市で開催された第45回がん予防道民大会にて、「タバコの煙のないおいしい空気を がん予防のために」と題し特別講演をしていただきました。秦先生は、日本禁煙学会をはじめ多くの禁煙推進活動団体でリーダー的役割を果たされていました。勤務先の札幌社会保険総合病院では、院内売店でのタバコの販売禁止から始め、2000年1月1日に全国で初めて敷地内全面禁煙にされました。その後、禁煙タクシーだけに病院の敷地で客待ちをすることを許可されたそうです。今でこそ敷地内全面禁煙の施設は増え、札幌市近郊も含めて約6,000台のタクシーが禁煙になっていますが、当時は非常に抵抗があり、実施まで何年もかかって大変な思いをされたとのことでした。（詳細はしらかば67号に掲載）

乳がん検診においても、禁煙においても、秦先生は北海道における偉大な先駆者でした。貴重なご寄附とご尽力に感謝するとともに、謹んで秦先生のご冥福をお祈り申し上げます。



2 住友生命チャリティコンサート

平成25年7月9日、札幌コンサートホールKitaraにて第28回住友生命全国縦断チャリティコンサートが開催され、募金の一部をがん征圧のため当会へご寄附いただきました。また、会場内ロビーにてパネル展示やリーフレット配布などによる普及啓発を実施し、1,400余名の参加者へがん検診の大切さを訴えました。



3 「母の日に、真っ赤なガーナでありがとう」

平成25年10月2日、ロッテ商事株式会社北海道支店より、がん征圧のためご寄附をいただきました。これはロッテが展開する「キモチつながるプロジェクト」の一環で、母の日にガーナミルクチョコレートを贈り、売り上げの一部を乳がん征圧へ役立てるというものです。全道のスーパーアークスグループさんにご協力をいただき、今年もたくさんの思いを受け取りました。



平成25年度寄附者一覧（敬称略）

【企業・団体】

企業・団体名	日 時	金 額
ピンクリボン・ファミリー	H25. 4. 16	10,000円
住友生命保険相互会社 札幌支社	H25. 8. 2	200,000円
ロッテ商事株式会社 北海道支店 株式会社ラルズ	H25. 10. 2	230,981円
Chup tutto	H25. 10. 19	2,520円
サントリービバレッジサービス㈱ 札幌駅総合開発㈱	H25. 12. 5	18,383円

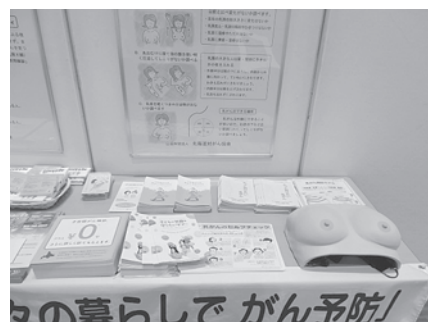
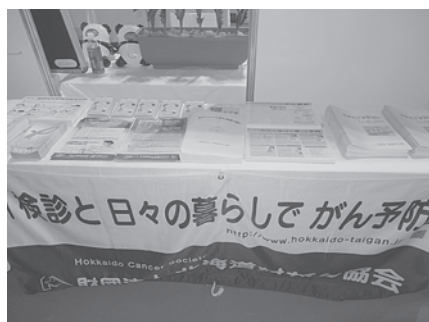
【個人】

氏 名	日 時	金 額
故・秦 温信 氏	H25. 6. 11	1,000,000円
的場 光子 氏	H25. 7. 21	50,000円
菊地 浩吉 氏	H25. 10. 2	1,000,000円
土門 広子 氏	H25. 10. 17	5,000円
大塚 忍 氏	H25. 11. 8	200,000円

❖平成25年度健康まつりに参加しました❖

北海道対がん協会では、広く道民の皆様ががんに関する正しい知識を普及することを目的として各自治体を実施する健康まつりに参加しています。

大会名	開催日	開催地	参加人数	内 容
平成25年度旭川市健康まつり	H25. 6. 8	旭川市	約1,500人	パネル展、乳がん触知モデル体験、骨検診、内臓脂肪測定
西区第11回健康フェア	H25. 7. 28	発寒小学校 体育館	230名	骨検診、パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
第28回おびひろ健康まつり	H25. 9. 1	帯広市	65人	パネル展 胃・肺・大腸がん検診
2013元気フェスティバルinきたひろしま	H25. 9. 1	北広島市	延べ 4,000人	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、スモーカーライザー
手稲区健康っていいねフェア	H25. 9. 7	手稲区民 センター	90名	胃がん検診20名受診（大腸配布23名） パネル展約90名来室
清田区健康&介護予防フェア	H25. 9. 18	清田区役所	約600名	骨検診、パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
日曜検診とがん予防パネル展	H25. 9. 22	釧路がん 検診センター	128人	胃がん検診Q&A、動画、乳がん触知モデル体験、パネル展示ほか
あつべつ健康・福祉フェスタ (プレフェスタ)	H25. 9. 24	サンピアザ 光の広場	124名	パネル展、がん予防クイズ
みんなでみに区る健康まつり2013	H25. 9. 26	南区民 センター	約800名	骨検診、パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
第28回いわみざわ健康まつり	H25. 9. 29	岩見沢市	707人	パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布、スモーカーライザー
(豊平区) 健康セミナー	H25. 10. 2	西岡福住 地区センター	131名	骨検診、パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
けんこうフェスタ2013inちゅうおう	H25. 10. 5	中央区民 センター	71名	パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、受診勧奨
あつべつ健康・福祉フェスタ	H25. 10. 5	厚別保健 センター	250人程度	骨検診、パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
釧路健康まつり	H25. 10. 20	釧路市	150人	パネル展、乳がん触知モデル体験、リーフレット配布
白石区すこやかファミリーフェスタ	H25. 10. 29	白石区民 センター	120名	骨検診、パネル展、がん予防クイズ、乳がん触知モデル体験、パンフ配布



がん予防に関する普及啓発教材を無償貸与・提供します

- 乳がん触知モデル
- がん予防パネル
- 普及啓発用リーフレット（枚数は要相談） など

がんに関する講習会・セミナー等を承ります

- 内容はご依頼に応じます（がんに関すること）
- 講師は内容に応じて選定します
- 経費は交通費実費をご負担いただいております

各自治体で健康に関するイベントをお考えの際、各企業でCSR活動を企画・実施される際、講習会・セミナーの講師探しでお困りの際には、ぜひ、北海道対がん協会にご相談ください！



担当：（公財）北海道対がん協会
総務課普及係長 植村
TEL：011-748-5511



ピンクリボン活動支援自動販売機 設置状況報告

北海道対がん協会では、平成22年5月に北海道コカ・コーラボトリング㈱と締結した「ピンクリボン活動推進協定」に基づき、ピンクリボン活動支援自動販売機（以下、ピンクリボン自販機）の設置を推進してきました。初年度は約30台ほどでしたが、平成25年12月末には約130台となり、順調に設置台数を増やしております。（詳細は下表のとおりです）

ピンクリボン自販機からいただく寄付金は、自販機設置者の「設置手数料」の一部から拠出されており、設置者の“善意”による寄付となっています。

また、その自販機の販売数が増えると、寄付額も増える仕組みになっているため、地域の皆さまも簡単に募金活動に参加することが出来ます。

平成25年度は、寄付金の一部を北海道内でピンクリボン活動を行う団体へ助成する「リボンの願い」という事業を開始し、3団体への助成が決定しています。（詳細は次号のしらかばで特集予定です）

いただいた“善意”が、大きなピンクリボン活動の輪となって、北海道における乳がん検診の受診率が上

がり、ひいては乳がんで亡くなる方が一人でも少なくなるように、今後も活動を推進して参ります。どうか、皆さんもピンクリボン自販機を見かけたら、意識的に使ってみてください。

なお、平成26年3月に、平成25年度分の寄付金贈呈式（イベント）を予定しております。ご興味のある方は下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

担当：（公財）北海道対がん協会
総務課普及係長 植村
TEL 011-748-5511



○ピンクリボン自販機設置ご協力先（平成25年12月末現在、敬称略）

1	新札幌乳がんクリニック	35	株式会社 信和商事
2	札幌コンベンションセンター	36	株式会社 田中工業
3	社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	37	大正交通有限会社
4	学校法人 藤学園 旭川藤女子高等学校	38	大丸藤井株式会社セントラル
5	財団法人 北海道労働保健管理協会	39	株式会社 コスモビル
6	株式会社 あゆみ厚済	40	株式会社 ジンコーボレーション
7	株式会社 砂子組	41	シザーハンズ
8	医療法人 北光会 朝里中央病院	42	セラーズ大滝
9	そらち乳がん・肛門外科クリニック	43	株式会社 ChipS
10	社会福祉法人真宗協会 特別養護老人ホーム帯広至心寮	44	学校法人 西野学園
11	足立産科婦人科医院	45	バクスター株式会社 北海道ビジネスセンター
12	株式会社 つけん札幌支店	46	株式会社 葉創
13	日興美装工業株式会社	47	株式会社 北海道ロードサービス
14	学校法人 駒沢岩見沢学園 駒沢看護保育福祉専門学校	48	環境開発工業株式会社
15	学校法人 北光学園 北海道理容美容専門学校	49	株式会社 化合物安全性研究所
16	くしろレディースクリニック	50	有限会社 タック・コーポレーション
17	株式会社 マルベリーさわやかセンター旭川	51	有限会社 カネホン水産
18	医療法人社団 杏和会 おびひろ呼吸器科内科病院	52	社会福祉法人 真宗協会 帯広光南病院
19	株式会社 ジェネティックラボ	53	株式会社 山元組
20	澤井石油商事株式会社	54	そば処さんてい 柏木店
21	株式会社 小田嶋組	55	中村印刷株式会社
22	株式会社 岸本組	56	株式会社 ホクレン商事 ホクレンショップ栗山店
23	医療法人社団 心優会 野口病院	57	学校法人 青葉学園
24	社会福祉法人 北海道社会事業協会余市病院	58	おいわけ整骨院
25	医療法人 溪仁会 手稲家庭医療クリニック	59	医療法人社団 慈昂会
26	留萌市病院事業	60	札幌臨床検査センター株式会社
27	社会福祉法人 真宗協会 帯広慈光学園	61	KDDI株式会社
28	富士フィルムメディカル株式会社	62	株式会社 パソナ パソナ・札幌
29	株式会社 セラビ	63	学校法人 教育の森学園 小樽看護専門学校
30	MINGLE 函館	64	株式会社 北海道ライフサポート 介護サービス大地のはな
31	社会福祉法人 萌寿会	65	北海道地区キヤノンマーケティングジャパングループ
32	医療法人社団 三草会 介護老人保健施設りらく	66	大鎮キムラ建設株式会社
33	富国生命保険相互会社 帯広支社	67	医療法人社団 博愛会 開西病院
34	社会福祉法人 真宗協会 特別養護老人ホーム帯広慈恩の里	68	匿名希望

2013年度「がん征圧全国大会」の開催御礼

日頃より当協会の事業につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、9月12日・13日の両日、ニトリ文化ホール（札幌市）において開催いたしました2013年度「がん征圧全国大会」は、おかげさまで、両日とも道内外から予想をはるかに上回る、大会史上最多の皆様のご参加を得て、盛会裏に終了することができました。主催者として厚く御礼申し上げます。

今後とも、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、全国大会および前日のシンポジウムにつきましては、次号のしらかばで特集予定です。

